

平成22年3月17日

ミクロネシア連邦水産協会及びマレーシアまぐろ協会がOPRTに加入

OPRT（社）責任あるまぐろ漁業推進機構は、3月12日開催した理事会で、ミクロネシア連邦水産協会及びマレーシアまぐろ協会の加入申請を承認した。

この結果、会員数は21団体、そのうち外国正会員は10団体（既会員：台湾、韓国、フィリピン、インドネシア、中国、エクアドル、セイシェル、フィジー）となる。

ミクロネシア連邦水産協会（FSM-NOFA）は、ミクロネシア連邦の水産業界（漁業、加工、流通等を含む）の全国組織として、2004年12月15日設立。日本の協力を得つつミクロネシア連邦の遠洋まぐろはえ縄漁業の開発を希望している。今後、OPRTに9隻のまぐろはえ縄漁船を登録する予定。

マレーシアまぐろ協会（MTA）はマレーシアのまぐろ業界の全国組織として、2008年3月26日設立。IOTC（インド洋マグロ類委員会）で承認されたマレーシアのマグロ漁業開発計画に基づき、日本の協力を得つつ、同国の遠洋まぐろはえ縄漁業の開発を進めることを希望している。今後、OPRTに5隻のまぐろはえ縄漁船を登録する予定。

OPRT白須会長は、「両団体の加入を歓迎する。OPRT入会の条件である大型まぐろはえ縄漁船の隻数制限について、水産庁の指導の下に折衝し、両団体とも制限に同意した。IUU漁業の阻止・廃絶、世界の大型まき網漁船による過剰漁獲能力抑制等、責任あるまぐろ漁業を共に推進する仲間が増えることは喜ばしい。発展途上国の両団体はこれからマグロ漁業を開発する意欲を示しているが、両団体とも日本の協力を求めている。日本の漁業者がこれに応じるにより、共に発展することとなることを希望している」と述べた。

ご質問等は下記にご連絡下さい

（問合せ先）

（社）責任あるまぐろ漁業推進機構
事務局長：田端 事業部長：人見
TEL：03-3568-6388
FAX：03-3568-6389